

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程の一部を改正する規程を次のように制定する。

平成13年12月 6 日

東京学芸大学長

岡 本 靖 正

平成13年規程第28号

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程の一部を改正する規程

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程（昭和45年規程第2号）の一部を次のように改正する。

第4条中「休学によらず第2年次終了までに所定の単位を取得しなかつた学生及び」を削る。

第9条中「連帯保証人」を「保証人」に改める。

様式第1号中「本 人」を「申請者」に，

「

連帯保証人（保証人自署） 氏 名 _____
住 所 _____
〒（ - ） TEL（ ） -

」を

「

〒（ - ） TEL（ ） -

」に

改め，「連帯保証人連署のうえ」を削り，

「

[申請の理由]

」を

「

[申請の理由]

(注)申請者は学生本人とし，当該学生が行方不明の場合は保証人とする。

」に

改める。

様式第3号を次のように改める。

様式第3号

寄 宿 料 免 除 願

平成 年 月 日

東京学芸大学長 殿

☐教育学部 類 専攻 年入学
☐大学院 (修士・博士) 専攻 年入学
該当する方を○で囲むこと。

学生番号 (-)
寮 名 ()
申請者(学生自署) 氏 名
住 所
〒 (-) TEL () -

下記の理由により、平成 年 月から平成 年 月までの寄宿料の免除についてご許可くださるよう別紙証明書を添えてお願いいたします。

記

[申請の理由]

(注) 1．申請者が在寮生の場合は、住所・郵便番号・電話番号は記入を要しない。
2．風水害、火災等不慮の災害を受けた場合には、罹災証明書を添付すること。

附 則

この規程は、平成13年12月6日から施行する。

現 行		改 正	
〔省略〕 （免除の除外） 第4条 <u>休学によらず第2年次終了までに所定の単位を取得しなかつた学生及び4か年を超えて在学する学生に対しては、原則として授業料の免除は行わない。</u> 〔省略〕 （出願の手続） 第9条 前条により授業料の徴収猶予を受けようとする学生（行方不明の場合は当該学生の<u>連帯保証人</u>）は、授業料延納願又は授業料分納願（様式第1号）を学生サービス課に提出しなければならない。 〔省略〕 様式第1号 授 業 料 ☐免 除 願 ☐延 納 願 ☐分 納 願 該当する□に1つだけレ印を入れること。 記入が無い場合は受け付けないので注意すること。 平成 年 月 日 東京学芸大学長 殿 ☐教育学部 ☐大学院 ☐特別専攻科 類 専攻 年入学 (修士・博士) 専攻 年入学 専攻 年入学 該当する方を○で囲むこと。 学生番号 (-) 本 人 (学生自署) 氏 名 住 所 連帯保証人 (保証人自署) 氏 名 住 所 〒 (-) TEL () - 下記の理由により、平成 年度 期授業料の上記願の許可を受けたいので、		〔省略〕 （免除の除外） 第4条 4か年を超えて在学する学生に対しては、原則として授業料の免除は行わない。 〔省略〕 （出願の手続） 第9条 前条により授業料の徴収猶予を受けようとする学生（行方不明の場合は当該学生の<u>保証人</u>）は、授業料延納願又は授業料分納願（様式第1号）を学生サービス課に提出しなければならない。 〔省略〕 様式第1号 授 業 料 ☐免 除 願 ☐延 納 願 ☐分 納 願 該当する□に1つだけレ印を入れること。 記入が無い場合は受け付けないので注意すること。 平成 年 月 日 東京学芸大学長 殿 ☐教育学部 ☐大学院 ☐特別専攻科 類 専攻 年入学 (修士・博士) 専攻 年入学 専攻 年入学 該当する方を○で囲むこと。 学生番号 (-) 申請者 (学生自署) 氏 名 住 所 〒 (-) TEL () - 下記の理由により、平成 年度 期授業料の上記願の許可を受けたいので、	

関係書類を添えて連帯保証人連署のうえ申請します。
なお、申請にあたり記入すべき事項を記入しなかった場合又は虚偽の記入をした場合は、申請却下又は免除等の許可の取消しがあっても異議はありません。

免除申請者の半額免除又は不許可になった 場合及び授業料延納申請者の納付猶予期日	平成 年 月 日
--	----------

記

[申請の理由]

[省略]

様式第3号

寄 宿 料 免 除 願

平成 年 月 日

東京学芸大学長 殿

教育学部	類	科	年入学
学生番号 ()			
寮 名 ()			
氏 名 (自署)			
連帯保証人 (自署) 住 所			
氏 名			

関係書類を添えて申請します。
なお、申請にあたり記入すべき事項を記入しなかった場合又は虚偽の記入をした場合は、申請却下又は免除等の許可の取消しがあっても異議はありません。

免除申請者の半額免除又は不許可になった 場合及び授業料延納申請者の納付猶予期日	平成 年 月 日
--	----------

記

[申請の理由]

(注)申請者は学生本人とし、当該学生が行方不明の場合は保証人とする。

[省略]

様式第3号

寄 宿 料 免 除 願

平成 年 月 日

東京学芸大学長 殿

☐ 教育学部	類	専攻	年入学
☐ 大学院	(修士・博士)	専攻	年入学
該当する方を○で囲むこと。			
学生番号 (-)			
寮 名 ()			
氏 名			
住 所			
〒 (-) TEL () -			

申請者 (学生自署)

下記の理由により，平成 年 月から平成 年 月までの寄宿料の免除についてご許可くださるよう別紙証明書を添えてお願いいたします。

記

理 由

注意 風水害，火災等不慮の災害を受けた場合には，罹災証明書を添付すること。

下記の理由により，平成 年 月から平成 年 月までの寄宿料の免除についてご許可くださるよう別紙証明書を添えてお願いいたします。

記

〔申請の理由〕

(注) 1. 申請者が在寮生の場合は，住所・郵便番号・電話番号は記入を要しない。
2. 風水害，火災等不慮の災害を受けた場合には，罹災証明書を添付すること。

附 則
この規程は，平成13年12月6日から施行する。